

みずほCustomer Desk Report 2023/05/18号 (As of 2023/05/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	136.49
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	136.43	1.0867	148.25	1.2486	0.6658
SYD-NY High	137.72	1.0873	149.23	1.2510	0.6673
SYD-NY Low	136.31	1.0811	148.12	1.2422	0.6629
NY 5:00 PM	137.71	1.0839	149.20	1.2487	0.6659
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,420.77	408.63	日本2年債	▲0.0600%	0.0000%
NASDAQ	12,500.57	157.51	日本10年債	0.3600%	▲0.0300%
S&P	4,158.77	48.87	米国2年債	4.1582%	0.0751%
日経平均	30,093.59	250.60	米国5年債	3.5874%	0.0590%
TOPIX	2,133.61	6.43	米国10年債	3.5707%	0.0303%
ソコ日経先物	30,545.00	660.00	独10年債	2.3375%	▲0.0020%
ロンドンFT	7,723.23	▲27.85	英10年債	3.8370%	0.0220%
DAX	15,951.30	53.37	豪10年債	3.4300%	▲0.0140%
ハンセン指数	19,560.57	▲417.68	USDJPY 1M Vol	10.21%	0.01%
上海総合	3,284.23	▲6.76	USDJPY 3M Vol	9.93%	▲0.02%
NY金	1,984.90	▲8.10	USDJPY 6M Vol	10.07%	▲0.07%
WTI	72.83	1.97	USDJPY 1M 25RR	▲1.51%	Yen Call Over
CRB指数	262.28	2.39	EURJPY 3M Vol	9.67%	0.05%
ドルインデックス	102.88	0.32	EURJPY 6M Vol	10.05%	0.03%

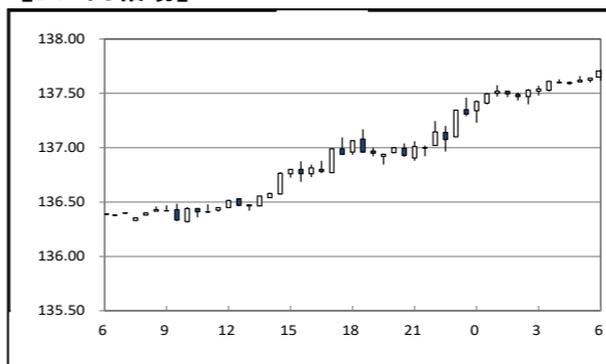
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月17日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	1Q 1.6%	0.8%
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	1Q 0.4%	0.2%
	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	4月 7.0%/0.6%	7.0%/0.7%
	18:00	欧 コアCPI・確報	4月 5.6%	5.6%
	21:30	米 住宅着工件数	4月 1,401K	1,400K
	21:30	米 建設許可件数	4月 1,416K	1,430K
	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	4月 2.2%	-1.4%
	21:30	米 住宅建設許可(前月比)	4月 -1.5%	0.0%

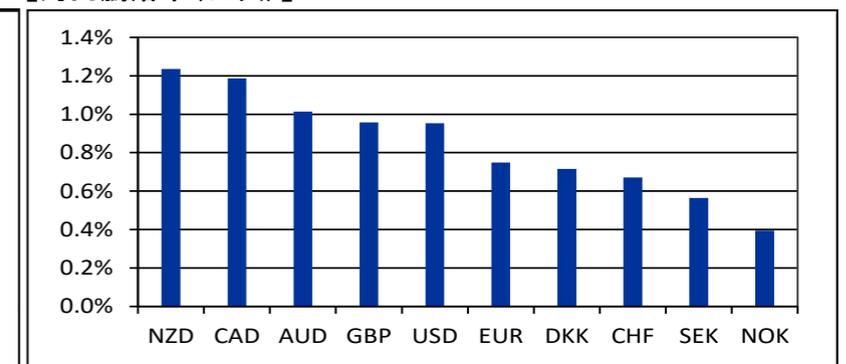
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月18日	08:50	日 貿易収支	4月 -¥600.0B	-¥754.5B
	10:30	豪 雇用者数変化	4月 25.0K	53.0K
	10:30	豪 失業率	4月 3.5%	3.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	13-May 252K	264K
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	5月 -20.0	-31.3
	23:00	米 中古住宅販売件数	4月 4.30M	4.44M

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.90-138.00	1.0800-1.0900	148.50-150.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は上昇。東京時間は日本株の堅調な推移やクロス円の上昇につられ137円手前まで上昇すると、海外時間に発表された米住宅関連指標の底堅さや、バイデン大統領と下院議長が債務上限問題について楽観的な見方を示したことでリスクオン地合いに。米株、米金利の上昇を横目にドル円は137.72まで上値を伸ばし高値圏でクローズ。ドル円は年初来高値圏まで上昇し、137.10付近を通る200日線を上抜けたが、3月の高値やGW前後に200日線を越えた際は、その後調整が入り反落しており(それぞれ、137.90→129.65、137.78→133.50)、スピード調整には警戒したい。しかし、高インフレが続く中、米小売りをはじめ足許公表されている米指標からは経済の底堅さを感じさせ、加えて米地銀の預金残高増加の報せにより金融不安が払拭されつつあり、Fedの金融引き締め継続を裏付ける展開。市場の織り込む利上げ停止、利下げ期待は後退し、むしろ25bpの利上げを織り込む格好でドルは全面的に強含んでおり、調整幅は小幅に留まると予想。

東京	東京時間のドル円は136.43レベルでオープン。新規材料に乏しい中、中国元が対ドルで節目7.0を超えると、ドル買いがその他通貨に波及。ドル円は目立った押し目もなくジリジリと上昇し、前日高値136.69を上抜ける展開。日中高値136.87をつけた後は小幅に値を戻し136.76レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.76レベルでオープンし、海外時間に続いて底堅く推移。一時137.05近辺の200日移動平均線前後でもみ合うも137.17まで上昇し、結局137.00レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は136円台半ばでスタート。東京時間では、日本株の堅調な展開が続き、日経平均株価が3万円の大台を回復する中、円安傾向が続くと見方をサポート。クロス円が上昇する中、ドル円もしっかり上昇し、137.00レベルでNYオープン。朝方に発表された米4月住宅着工件数が予想をやや上回るも影響薄。その後、バイデン大統領とマッカーシー米下院議長が米債務上限問題にて楽観的な見方を示し、「21日までに合意する事は可能」とのヘッドラインが伝わった事から、米金利が上昇するのを横目に、137円台半ばまで値を上げる。午後高値圏での動きが続き、日中高値の137.72を付け、その後137.71レベルでクローズ。一方海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。独金利が低下する中、じり安で推移し1.08台前半まで下落する。その後発表されたユーロ圏4月CPI(確報値)が下方修正され、更にデコス・ECBメンバーの「引き締めサイクルの終わりに近づきつつある」との発言を受け、上値重い展開が続き、1.0826レベルでNYオープン。朝方は米金利が上昇するのを受け、1.0820付近を挟んだ方向感の無い推移が続く。午後は小幅反発し、1.0840近辺での推移後、1.0839レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・鈴木